

亀甲割れバインダー

CRACK BINDER 812

1) 概要

亀甲調のひび割れを表現できるバインダーです。
 マットタイプの為、白色、着色ひび割れ模様を得ることができます。
 プリント後の乾燥で自然にひび割れが発生します。
 トップコートを施すことにより
 伸縮性や堅牢度に優れたひび割れの表現が可能です。

2) 性状

	CRACK BINDER 812
外観	白色ペースト
組成	アクリル系樹脂、体質顔料等
粘度 (mPa・s) (at 25°C)	40,000±10,000
pH	8.0±0.5
密度 (g/cm ³)	1.10±0.05

3) 使用方法

3) - 1 【処方】

Stretch Clear 701B	100	0
Crack Binder 812	0	100
ネオカラー 各色	～ 10	～ 5
フィクサー FE	2	2
合計	～ 112	～ 107

3) - 2 【工程】

- アンダープリント (2 ストローク、70 ～ 120 メッシュ / インチ)
 → 乾燥
 → Crack Binder 812 プリント (2 ストローク、80 メッシュ / インチ)
 → 乾燥 (製品台の上で割る)
 → ベーキング (140°C × 3 分)

Recommended Parameters



Fabric Types

綿、T/C



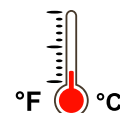
Screen Mesh

～ 80mesh/inch



Squeegee

Durometer : 70/90/70
 Square Edge



Flash & Cure

140° C × 3min.



Pigment

UP TO 5%

AUXILIARIES

Fixer FE, Fixer L or Fixer N
 2 - 3 %



Storage

5° C — 30° C



Clean Up

石鹼水又は湯

4) 留意事項

- ・良く攪拌して均一なペーストにしてからご使用ください。
- ・プリント後は地張から剥がさず乾燥してください。
クラッキング前に地張から剥がすとクラックが生じにくくなります。
- ・カラー添加後増粘傾向になることがあります。
エマコール R 105 を～0.5%添加することで改善します。
- ・下引きをすることでよりひび割れの効果が現れやすくなります。
下引きインキは、701 シリーズや Binder 0523-E が使用可能です。
- ・架橋剤は、Fixer L、Fixer FE または Fixer N が使用できます。
Fixer L、Fixer FE は低温架橋性に優れますがインキのポットライフが短くなるため
添加後は一日内での使用として下さい。
Fixer N はポットライフが長く、残インキは後日にも使用できます。
- ・インキ粘度を上げる場合は、エマコール R530 またはエマコール R600E を
0.1 ～ 0.5%添加し均一に攪拌して下さい。
- ・インキ粘度を下げる場合は、触媒#3000 を 0.5 ～ 2.0%を添加して下さい。
- ・開封後は、表面が乾燥しないよう蓋を締めて下さい。
- ・長期保管は、密栓して冷暗所に保管下さい。

※ご使用の際には必ず貴社での性能確認をお願い申し上げます。

株式会社松井色素化学工業所

〒607-8466 京都府京都市山科区上花山桜谷 64 番地
(075)594-5611 (075)501-8106
msc_information@msc-color.co.jp www.msc-color.co.jp

